

平成 29 年 4 月 16 日

TSC の皆様

4 月定例会の報告

1 日時 会場 平成 29 年 4 月 16 日(日) 午後 2 時から 4 時 於 豊島区立池袋中学校

2 内容

(1) 小中一体型の新校舎について

豊島区立池袋中学校 牧野 崇 先生

去年の 8 月に完成した同新校舎の見学をした。同校は、近隣の小学校 2 校が統合した「池袋本町小学校」と「池袋中学校」が同一の校舎内にある。しかし、あくまでの 2 校であるので、職員室は合同であり、一部の施設(災害対応のため 1 階校庭に面している調理室、図書室)は共用しているが、校長もそれぞれに配置されている。小学校の教室の方が、教室入り口のクールダウン用の思われるコーナーや広い廊下があり、充実している感がある。各教室にプロジェクターがあり、アイパットも生徒が使えるようにあり、ICT 環境は整備されている。現在、中学校用の校庭は、整備中である。ただし、旧校舎敷地の活用のため、道路をはさんで行くことになる。

(2) 新学習指導要領について

品川区立八潮学園 山口 晃弘 先生

新学習指導要領について、「中学校理科・学習指導要領改訂の要点 資質・能力の育成に向けた学年ごとに重視する学習のプロセスなど」の原稿をもとに「資質・能力とは」「プログラミング学習」「学習のプロセス」「中 1 の問題を見出し」「中 2 の立案」「中 3 の振り返り」について討議した。これらについては、解説編で説明があるとのこと。

5 月 15 日の都中理総会 の案内 。教科調査官 の遠山 一郎 先生 の講演 がある 。
単位 のポスターの紹介 。

(3) 内容の関連性を意識した指導の事例 大気圧と水圧と体のしくみ(耳・鼻・口)

板橋区立高島第一中学校 大久保 秀樹

分野を関連させるような記述が教科書に少ない。圧力が変化すると、耳が痛くなり、つばを飲むと解決する。このことは、現在では物理分野の圧力と生物分野の体のしくみを関連させないと説明できない。耳や口・鼻のしくみの図は、どの教科書にも掲載されているが、両者が耳管でつながり、鼓膜の内部に口や鼻から空気を送れるようになっていることには記載がない。このような分野横断的な内容を是非、新しい教科書で掲載するべきである。

(4) ゾウリムシの培養方法

板橋区立赤塚第二中学校 高橋 信雄 先生

尿検査用容器を活用した中に、培養したゾウリムシを用意していただき、胃腸薬(エビオス)をいれた水の中に入れると多数培養できるとのこと。エビオスは、ビール酵母からできているので、ゾウリムシの餌になる。ゾウリムシを高橋先生ご考案の小型の台にのせ、アイパットの自撮り用レンズの上ののせると画面でみることでできる。このゾウリムシは、板橋区の区中研の際、区内全校に配布されたが、豊島区でも全中学校に配布することになった。